

R3 Diversity-KOJO講座(7/26実施) 参加生徒アンケート 集計結果

質問	回答番号					合計	図表
	①	②	③	④	⑤		
Q1 あなたの学年は？	1年生 49 49.5%	2年生 50 50.5%	3年生			99	
Q2 あなたの性別は？	男子 31 31.6%	女子 67 68.4%				98	
Q3 講座に参加して、科学についてどのように思うようになりましたか？	受講前から好きだったが、受講後はより好きになった 39 39.4%	受講前から好きだったが、受講後もあまり変わらない 47 47.5%	受講前から好きではなかったが、受講後は好きになった 6 6.1%	受講前から好きではなかったし、受講後もあまり変わらない 7 7.1%	受講前より嫌いになった 0 0.0%	99	
Q4 講座は面白かったですか？	面白かった 45 45.5%	どちらかといえば面白かった 42 42.4%	どちらともいえない 9 9.1%	どちらかといえば面白くなかった 1 1.0%	面白くなかった 2 2.0%	99	
Q5 講座の内容を自分なりに理解できましたか？	理解できた 16 16.0%	どちらかといえば理解できた 50 50.0%	どちらともいえない 21 21.0%	どちらかといえば理解できなかった 6 6.0%	理解できなかった 7 7.0%	100	
Q6 講座への参加で、科学に対する興味関心はどのようになりましたか？	受講前も興味・関心はあり、受講後はもっと興味・関心が増した 39 39.8%	受講前も興味・関心はあり、受講後もあまり変わらない 45 45.9%	受講前は興味・関心はなかったが、受講後は興味・関心をもつようになった 9 9.2%	受講前は興味・関心はなく、受講後もあまり変わらない 5 5.1%	受講前よりも興味・関心はなくなった 0 0.0%	98	
Q7 講座への参加で、将来、科学に関する職業に就きたいと思われましたか？	受講前も考えており、受講後はもっと考えるようになった 31 31.3%	受講前も考えていたが、受講後もあまり変わらない 34 34.3%	受講前は考えていなかったが、受講後は考えるようになった 11 11.1%	受講前は考えていなかったが、受講後もあまり変わらない 22 22.2%	受講前よりも考えなくなった 1 1.0%	99	
Q8 社会におけるダイバーシティ(Diversity)の考えに対する理解が深まりましたか？	大変理解が深まった 22 22.2%	まあまあ理解できた 51 51.5%	どちらともいえない 19 19.2%	あまり理解できなかった 2 2.0%	まったく理解できなかった 5 5.1%	99	
Q9 今後、このような講座に、また参加したいですか？	参加したい 39 39.4%	どちらかといえば参加したい 38 38.4%	どちらともいえない 19 19.2%	どちらかといえば参加したくない 1 1.0%	参加したくない 2 2.0%	99	

## Q10 講義を通して学んだことや新しく知ったことを記入してください

- ・ガンは、磁石で引き寄せられる。
- ・科学の重要性、何か一つ誰にも負けないものを作る事、SCGBについて。
- ・科学の可能性。
- ・磁石にくっつく抗ガン剤もある事。
- ・磁石にくっつく化合物がある。とあるタンパク質は肺にとってとても良い。
- ・自分のしたい研究を大学ではずっとできるという事。
- ・マウスを用いた実験について。
- ・マウス実験を通して、人間にもたらされることの被験者になり、安全が確認されていることが分かった。
- ・学問を広く学ぶ重要性を知った。
- ・薬が出来るまで大切。
- ・マウスでの実験が成功した＝人でも成功する、ではないことが分かった。
- ・新薬ができるまで多くの年月と費用がかかること。③
- ・自分が好きな分野を極めるのはもちろん、幅広く学び、後悔しないように今を過ごしたい。
- ・気流制限と肺気腫の治療法が存在しない事。
- ・多様性を知れたり、大学について少しずつ理解できたりしたのでよかった。
- ・現在の療法やガンについて学べた。
- ・COPD。たばこ。サーファクタント…ずっと息を吐いている状態。
- ・少しは聞いたことはあったけど、知らないことが多かったので、多くの事を知れた。
- ・ガンの治療法に磁性を使ったもの(磁性抗ガン剤)がある事。③
- ・新規タンパク質についてなど。②
- ・勉強の仕方を学べた。
- ・研究の状況や自分の将来に対する考え方。
- ・基礎研究から新薬の開発までがどのような流れで行われているかという事や、一つのタンパク質が様々な疾患に影響を及ぼすという事について初めて知った。
- ・座談会を通して、苦手な事にどう向き合ったらいいかが分かって良かった。
- ・理系は男性が多いイメージがあったが、女性も活躍している事が分かり良かった。
- ・研究によって、新しく作られたり解明されたりする新薬や反応など。
- ・ドラッグデリバリーという技術があること。ガンが出来るまでのメカニズム。サーファクタントSCGB3A2が、呼吸器や未熟児の成長に対して有効に働くこと。
- ・高校生のうちに自分の得意を伸ばしたい。
- ・どの科目を選択しても将来役に立つことが沢山ある事。
- ・色んな分野の事を知るためにも、幅広い知識を持つことが大切だと思った。
- ・肺について。
- ・タンパク質の可能性を知った。②
- ・身近なものに興味を持って、考えを広げていきたいと思った。
- ・医療に繋がられる生物学的研究について詳しく学べた。私は医療と生物のどちらにも大変興味があるので、楽しく学べた。
- ・製薬開発や研究のプロセスを理解する事ができた。長い期間がかかる事や、どのように発展し研究が深まるかが分かった。
- ・磁性抗ガン剤の特徴・効果を知ることができた。
- ・新薬の開発の流れや、肺発生におけるSCGB3A2の利用を詳しく知った。
- ・異分野の交流の大切さを知ることができた。②
- ・1つの職業にも様々な学問が関わっていることを知った。
- ・物理と生物のような異分野交流によって、新たな目線が生まれること。②
- ・新規タンパク質は肺気腫にとっても有効であること。
- ・事前資料だけでは理解しきれなかった「サーファクタント」について詳しく知ることができた。
- ・大学の研究で社会貢献が出来る事。
- ・特に面白かったのは、磁性抗ガン剤の話だった。ピンポイントでガンの治療ができる、そのような抗ガン剤が出来ると良いと感じた。
- ・磁性を利用して、研究するという事が面白かった。
- ・医学の分野でも物理は活躍できる。
- ・DDSがとても役に立っているということ。
- ・専門家同士が協力していくこと、そして働いていくことや科学の向上に繋がるのだと思った。
- ・薬が出来るまで10～18年かかる。高校で学んだ事と違う事を大学で勉強する方もいる。
- ・各分野のエキスパートと協力する大切さ。
- ・学問は全て繋がっている。
- ・好きな事についての研究で、やがては医療の現場で使われるような発見があるところが、科学の面白さだと思った。
- ・大学からでも自分の学びたいものを学べるという事を知って安心した。
- ・将来、大学で学ぶ時の為にも、高校の勉強は、基礎作りという意味で大切だと分かった。
- ・進路について悩んでいたが、大学院生の方々の声を聞いて、とても参考になった。
- ・科学についての講座は難しかったが、科系選択に良い事を聞けて良かった。
- ・多様性が自分自身に浸透していないと気づくことが出来た。
- ・今は生物と化学しか習っていないけど、この後様々な知識を使っていくことが分かったので、今の勉強もしっかりと習得しなくてはいけないと改めて思った。

## Q11 その他、感想や意見、要望などがあれば記入してください

- ・ありがとうございました。④
- ・勉強しかりしたい。
- ・内容が少し難しかった。②
- ・磁力やタンパク質について知ることが出来て良かった。
- ・とても面白かった。進路についても深く考えられた。
- ・新規タンパク質が呼吸器である肺に与える影響など、大変興味深く面白い話が聞けて良かった。
- ・磁性抗ガン剤、面白かった。
- ・とても興味深い話で、楽しかった。
- ・スライドの資料を配布してほしい。
- ・生物の詳しい研究を知ることができ、とても良い機会となった。
- ・専門性が高くあまり理解できなかった。知識の足りない人も分かるようにしていただけたらいいと思った。
- ・専門的な事も分かりやすく説明していただき、しっかり理解する事ができた。
- ・ためになった。